

今年度のテーマ『うん、そうだね。』です。

子どもたちは、見たこと聞いたこと、感じたことを すぐに、身近な大好きな人に話したくなります。

そんな時『うん、そうだね。』と 一度は必ずそのことばをそのまま受け止めてあげましょう。大人も子どもも、きっと心がほんわかとあたたかくなりますよ。

今朝のことです。

私の母が、窓の外をみながら、ひさしぶりに降り始めた雨に、「いい雨だねえ。花がよろこぶだろうね。」と言いました。その言葉に、私は素直に「うん、そうだね。」とは言えず、だまっていました。

なぜなら、今日は幼稚園の「母の会」があり、たくさんのお母様方が園児といっしょに登園して来られるので、雨が強くなると小さい子どもを連れて来られる方はたいへんだろうし・・・。あさっては、年長組がレンゲ畑に遊びに行く予定で、子どもたちはとても楽しみにしているのに、今雨が降ってしまうと田んぼがぬかるんでしまい、とうぶん行けなくなってしまうからです。

“「うん、そうだね。」と、人の話を一度、そのまま受けとめる” これは、人ととのコミュニケーションをとっていく上でも大切な事なのですが、とても難しいこともあります。けれども、素直に「うん、そうだね」と言えない自分に気づいていくことは、大きな一歩になります。最初から相手の言葉を否定してしまうことは、簡単なことです。でも、そこには、“互いを認めあう” という気持ちは存在しません。

『うん、そうだね。』 — とてもよい言葉です。

この一年間で、たくさん使えるようになっていってほしいと思っています。

(2009. 4. 14 母の会にて)